

■第6次犬山市総合計画（素案）に対する意見・提案と市の考え方について
（パブリックコメント実施結果について）

< 1 >

○いただいた意見・提案

生涯学習の施策について、高齢化が進み、今後 図書館の利用方法の IT 化が必要です。

足元も悪くなる環境(車の処分、免許証の返納など)が予想されるなか、次の具体化が待たれます。

蔵書の内容の公開、新刊書の入庫の内容、公開、希望する本の借り出し、返本の IT 化

借り出しの書籍(グラフ等)の希望者宅までの搬送、受渡し、返本のシステム化です。

◆市の考え方

ご意見の趣旨は、「ICT を活用する等して、誰もが利用しやすい図書館運営を図るべきである。」ということだと理解しました。

基本計画（施策 1-3）「生涯学習」の取組みの方向性（61 頁）には、『図書館の充実』において、「市民の生涯学習を支えるため、多様な資料や情報を収集し、提供するとともに、図書館の ICT 化を進め、読書環境を整え、いつでも気軽に情報を得られるよう図書館機能の充実を図ります。」と記載があり、いただいたご意見の趣旨と合致していると考えています。

なお、蔵書（新刊書含む）内容公開と、本の予約対応につきましては、現在も犬山市立図書館ホームページ上で実施しております。

（犬山市立図書館ホームページ：<https://www.lib.inuyama.aichi.jp/>）

その他具体的なご提案につきましては、今後、取組みを検討する際の参考とさせていただきます。

< 2 >

○いただいた意見・提案

意見

国（農水省）がSDG'Sやカーボンオフセットを実施する最も効果的な取り組みとして、有機農業を2050年までに全体の25%まで増やすという目標を掲げている。にもかかわらず、犬山市の総合計画にはこれらのことが全く含まれていない。世界的に取り組むべき指標となっているCO2削減や、生物多様性など環境に対する取り組みを、犬山市の一次産業で全く明記せずに、計画が進行することは、“まちづくり基本目標 第3条”を形骸化している。

提案

・有機農業は農法の話ととられがちであるが、そうではない。社会の仕組み（肥料や

飼料、食料を地産地消し、地域内循環を図る)と認識していただきたい。

・有機農業を、市民の環境に対する意識向上や食育の推進、生産者の高齢化や耕作放棄地の改善に繋げる旗印として、活用していただきたい。

・肥料や飼料、食料を地産地消し、人、もの、金の循環を図る為には、農林課だけの課題ではないと考える。部署を横断した取り組みとして実施していただきたい。

・愛知県内では有機で就農するなら、知多か愛知北と言われている。JAなど他主体とも連携をとり、有機の旗印のもと新規就農者確保に努めていただきたい。

・今井や善師野の耕作地は狭くオペレーターにも敬遠されている実情を踏まえ、量より質を重視する農業施策を打ち出していただきたい。

◆市の考え方

基本計画（施策2-1）「農業」に関連するSDGsの目標として、「6：安全な水とトイレを世界中に」や「12：つくる責任つかう責任」といった、環境保全に直接的に関わる項目を示しております（72頁）。計画案に「有機農業」という言葉は書かれてはおりませんが、市としては農業施策の実施にあたり環境保全も念頭に置きながら、取り組みの方向性を記載しています。

取り組みの方向性の「農業者の確保、育成」では、「関係団体等と連携して農福連携等の新しい農業の取り組みを促進します。」と記載しており、「有機農業」も新しい取り組みの一つに含まれると考えています。

また、人、もの、金の循環を図る取り組みに限らず、「施策を横断する取り組みについて本計画の基本目標を実現するために必要なことは適切に実行する」旨を、基本構想において記載しています（41頁）。

具体的なご提案につきましては、今後、取り組みを検討する際の参考とさせていただきます。

< 3 >

○いただいた意見・提案

市街化調整区域の農業生産基盤整備事業の場所を中心に農業復興を図っています。

とあるが、産業課は農地を運営するための研修先や売り先すらないといい、土地を買うにも借りるにも審査が厳しいため、給料が安く休みのない農園に就職したり、現在の仕事を辞めてまで農業に若者が従事独立ができるわけがなく、どうやって復興するのか具体的に教えてほしい。

私としては野菜や果樹の栽培の研修と、売り先を市がサポートしなければ話が進まない。

道の駅をつくるというのであれば、そこで犬山の野菜果樹のみを取り揃える取り組みをすべきではないか？

◆市の考え方

基本計画（施策2-1）「農業」において、「地域の特性を生かした魅力ある農業ができるまち」をめざす姿とし、農業振興を図るために必要な取り組みの方向性を定めてい

ます（70・71頁）。

なお、研修先や売り先の確保等については、既に愛知県や愛知北農業協同組合など関係団体と連携して取組みを行っています。

具体的なお提案につきましては、今後、取組みを検討する際の参考とさせていただきます。

< 4 >

○いただいた意見・提案

商業施設について、衣類などを市外で買う人が多い傾向にあるのをみたが、正直それは当然のことだと感じている。

理由としては犬山にある衣類店は子供や高齢者向けのものばかりで学生や青年たちが購入する気持ちになれるものを扱っていない。

私としては、新しい商業施設を建設するのではなく、せつかく清水屋があるのならば大手商業施設が若者を引き寄せる物品を扱うようになるべきと思っている。

家電も同様で、マツヤデンキ等はあるものの値段が高く、目立つ量販店がない。

それらを総合的に取り揃える商業施設が必要。

◆市の考え方

ご提案の趣旨としては、「市民の買い物利便性の向上を図るべきである。」ということだと理解しました。

基本計画（施策 3-1）「住環境・インフラ」の取組みの方向性として定めた「新たな交流施設の整備と買い物等の利便性の向上」（77頁）では、『橋爪・五郎丸地区と国道 41 号沿線において、市民の暮らしの豊かさが向上し、来訪者にとっても魅力が高まる場となるような新たな交流施設を整備するとともに、その周辺における民間商業開発の促進や都市計画マスタープランにおいて「商業集積ライン」としている幹線道路での沿道商業施設立地を通じて、市民の買い物等の利便性の向上を図ります。』と記載しており、当該方向性に沿ってできるところから進めてまいります。

< 5 >

○いただいた意見・提案

海洋プラスチックについて 海洋プラスチックゴミは不法投棄以外にも沢山ある衣類やスポンジの繊維（スチレン、プロピレン、ポリエステル、アクリル、ウレタン、ナイロンなど）が川に流れることでマイクロプラスチックで汚染される。

提案として、犬山市が林業を支える意味でも、間伐材を使用したセルロース繊維を使用したスポンジを薦めるべき。放置された竹林を使用して竹歯ブラシやレーヨン素材の服を作るのもあり。SDGs 達成を目指すと言うならここが重要だと考えた。

◆市の考え方

ご意見の趣旨としては、「海洋汚染を防止する取組みが必要。」ということだと理

解しました。

基本計画（施策3-3）低炭素・循環型・自然共生の取組みの方向性（87頁）には、「3Rの推進」において、「さらなるごみ減量を図るため、食品ロスやプラスチック製品のリサイクルといった取組みを強化し、今後も3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進します。」と記載しており、当該方向性が海洋汚染の防止に資するものと考えています。

海洋汚染の防止や、市のSDGs推進についての具体的なご提案につきましては、今後、取組みを検討する際の参考とさせていただきます。

< 6 >

○いただいた意見・提案

外来生物について

駆除すべきという世の中の印象を受けるが、外来種が本当に悪なのかをよく考えてから駆除に移るべき。

例えばアメリカザリガニやスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）は大量繁殖をしているが、それらがいるからと言って在来生物の住処が著しく奪われているわけではない。

生態系が受け入れている面を考慮して再調査したほうがいいだろう。

代表的なアライグマについても人間が持ち込んだものであるのも命である生物を標的にすることは間違った考えだと思う。

◆市の考え方

基本計画（施策3-3）低炭素・循環型・自然共生の取組みの方向性（87頁）には、「動植物の生息・生育環境の保全」において、「希少種をはじめとする生物多様性の保全に向けた調査を行い、保全に向けた取組みを進めるとともに。外来生物による生態系等への被害防止のための市民への周知を行います。」と記載しております。

具体的なご提案につきましては、外来生物が農作物に被害を及ぼしている側面もあること等も踏まえ、今後、取組みを検討する際の参考とさせていただきます。

< 7 >

○いただいた意見・提案

新しい住宅街の建設を考えているようだが、空き家問題を解決してからでないと産業廃棄物が増える一方であると考ええる。

状態に問題がない家は県や市が安い値段で買い取り、安く提供することはどうだろうか。状態が悪く住めない家の解体費用については解体の補助金を出すのもありではないだろうか。

◆市の考え方

基本計画（施策3-1）住環境・インフラの取組みの方向性（77頁）には、「空き家の適切な管理」において、「空き家バンクの啓発や住宅相談等を行い、空き家の利活

用を促します。また、空き家の適正な管理を所有者に促し、地域の安全・安心の確保や生活環境の保全を図ります。」と記載しており、現在も所有者に向けた利活用啓発など空き家対策に取り組んでいます。

なお、犬山市では倒壊のおそれがある危険空き家（木造）の解体費用について補助金（上限 20 万円）の制度を設けています。

(<https://www.city.inuyama.aichi.jp/kurashi/sumai/1006587.html>)

その他の具体的なご提案につきましては、今後、取組みを検討する際の参考とさせていただきます。

< 8 >

○いただいた意見・提案

市の自然保護区域に味鹿地域も追加してほしいと思います。

この地域の耕作放棄地にはドジョウやメダカ、すっぽん、ヘイケボタル等の数を減らしている在来種が生息しているためです。この場所は耕作放棄地が多く、住宅やメガソーラー等の開発をされることを懸念しています。

◆市の考え方

ご提案の趣旨としては、「味鹿地域の自然環境を保護すべき。」ということだと理解しました。

基本構想「将来の都市構造（土地利用）」における将来都市構想イメージでは当該地域を「暮らし・自然調和ゾーン」に位置付けており（44 頁）、土地利用の方針を、「優良な一団の田園地域や里山環境の保全に努め、“自然”や“農業”と“人”が調和（共存・共生）する環境の維持を前提としながら、この環境を著しく損なうことのないよう留意しつつ、産業用地などの新たな土地利用を図ります。」と定めています（46 頁）。

< 9 >

○いただいた意見・提案

犬山市の最大の課題は人口減少で、現在その核となる対策が子育て世代への支援策ということですが、それは短期的にはある程度効果があるのかもしれませんが、長期的な効果は疑問に思います。子育て世代への支援策はどの自治体でも既にやっているか、考えていることだと思いますから、差別化は難しく、支援の過多で各自治体間での比較、競争ということになります。また、お金をかけ、手塩にかけて育てた子供たちも、犬山市に魅力を感じなかったり、活躍の場がなければ成人するころには転出してしまいます。さらに、生活支援策だけが売り物になってしまうと、行政サービスを消費する人たちがばかりが集まってしまふ、という弊害も出てくるかもしれません。

根本的な対策は、犬山市の特色ある魅力を発掘し、高め、犬山市で起業したい、商売したい、社会的な活動をしたい、という人たちが集まってくるような施策にあると

思います。例えばそれは「歴史とともにある、未来の世代の為の持続可能な自然共生型のまちづくり」にあると考えます。人口動態とといった関係があるのかと思われるかもしれませんが、過疎地の岐阜県石徹白集落に小水力発電を中心に「持続可能な農村」として多くの若い起業を目指す精力的な移住者が集まってきた事例にあるように、持続可能な自然共生型のまちづくりに全力で取り組むことが魅力ある街を作り、メディアの注目を集め、子どもの将来を真剣に考える子育て世代が集まってくる大きな要素になるのではないのでしょうか。そんな魅力的な犬山であれば、成人した子供たちも定着してくれるでしょう。

また、数の少ない若い世代を他の地域と競争して取り合うのも良いですが、人口の多い高齢者の転出を防ぐことも大切だと思います。交通の便を良くし、高齢者も住みやすい街にすることで名古屋など高齢者の都市部への転出を予防することが大きな課題だと思います。

僭越ながら、犬山に生まれ育ち、東京や海外生活を経てUターンした私自身が「こんな街だったら住みたい」と思うアイデアを以下に列挙いたします。

もうすでに考慮されているもの、あるいは実現困難なものもあるかとは思いますが、ご参考になれば幸いです。

【自転車走行空間整備】

<目的> 自転車利用促進で市民の健康増進。環境にやさしい街づくり。未成年者や免許返納後の高齢者の移動手段に。車利用を減らし渋滞緩和、周遊型観光促進。

・オランダを参考にした進歩的な自転車レーンの整備で車、自転車、歩行者全ての利便性と安心安全の確保。

・自転車やオートバイにとっては危険な障害物でしかない歩車道境界ブロックの撤去。

・市内の名所、里山をつなぐ自転車周遊コース整備で自転車による周遊型観光促進。

<参考ルート> 犬山城 ➡ 木曾川沿い ➡ 桃太郎公園 ➡ 寂光院 ➡ 尾張パークウェイ ➡ 今井 ➡ 入鹿池 ➡ 明治村 ➡ 新郷瀬川の土手を北上 ➡ 犬山城

【高齢者のための交通の便の向上】

わんまるバスの増便：お昼時間の運行が無いため利便性が低い。最低1時間1本に増便。可能なら土日の運行も。

(将来的には自動運転バス導入を視野に。)

【ゴミの減量】

・生ごみ、剪定枝の堆肥化処理施設。できた堆肥を農家や市民へ無償提供または販売。電気を使用する乾燥式生ごみ処理機の助成金よりも家庭用コンポスターの助成金の

ほうが環境にも家計にも優しい。

- ・家電、家具、粗大ごみ：メルカリ、ジモティーなどで再販。
- ・洋服：まだ着られる洋服を回収し再販。特に子供服、ランドセルのシェアリングや再販。

【温暖化と気象災害に対するレジリエンスを高める街づくり】

都市化によって人工被覆域が拡大し、植生域が縮小することで、夏場のヒートアイランド現象や集中豪雨時の都市型水害のリスクが高まる。

<対策>

- ・透水性舗装や透水性コンクリートの導入。街路樹を増やす。
- ・住民や企業にヒートアイランド現象、都市型水害のリスクの啓発をする。私有地にも透水性被覆や植樹を施すよう助成金などで促す。

【生物多様性の保全】

・八曾の森に自然植生を再生。市民の手による広葉樹植樹で市民と里山とのつながりを深める。（現在行われている針葉樹の伐採だけではボランティアは集まりづらいと思います。未来の森を積極的に「育てる」事のほうが夢があって家族参加も呼びかけやすいと思います。）

・河川護岸のビオトープの増設（新郷瀬川、五条川、木曾川など）による自然との共生と河川敷の魅力向上、観光資源化、水害予防。

・都市部、住宅地などに犬山在来の自然植生を再生する植樹により里山からの鳥や昆虫の回遊性を高める。

（参考）新梅田シティ 新・里山

<https://www.sekisuihouse.co.jp/exterior/ext02/>

（参考）「5本の樹」計画

<https://www.sekisuihouse.co.jp/exterior/kw02/>

【下本町】

昭和レトロの建造物の魅力を維持したオシャレなクリエイティブエリアとしてクリエイターや起業家、職人の誘致。 Fabcafe（デジタル工房）、DIY工房、アート、デザイン、ファッション、クラフト、コワーキングスペースなど。

https://greenz.jp/2019/12/25/good_cycle_ikoma_teidan/

【五郎丸商業施設】

・道の駅を中心に個人商店を集め、大規模チェーンにはない地域色のある商店街を再現。屋台横丁など

・健康志向、SDGS、食の安心安全をテーマにした常設のマルシェやフードコートで近隣の市町村からも子供の健康に気を使う家族連れが集まるような特徴的な魅力を出

す

<例>オーガニック食品のスーパー、米粉 100%のパンやスイーツ、ベジタリアンフード、グルテンフリー、地産地消など。

【江戸グリーンエコノミー】

栃木の「江戸グリーン・エコノミー」プロジェクトなどを参考にした地域ブランディング。犬山ならではの歴史や昔ながらの文化、生活、思想を発掘、再発見し、未来の子供たちに自然共生社会、循環経済を残す取り組み。作り物ではない、歴史や土地の自然や生活に根ざした本物のコンテンツでインバウンドに訴求する。

<http://edo-green-economy.com/>

【日本ライン夏祭り宵祭り】 野外映画祭、コンサート、演劇などの催し物による魅力向上

【市民の健康増進】 長野のような予防に重点を置いた市民の健康増進への取り組み。

【公園】 大人用のエクササイズ遊具の設置で市民の健康増進。平行棒、鉄棒、懸垂棒、吊り輪、ロープ、ベンチなどで自重筋トレ、ストレッチ。

【図書館】 犬山の歴史を感じさせる木造の魅力的な滞在型図書館

◆市の考え方

市としても、持続可能なまちづくりを進めていくためには、まちの魅力を高めるとともに、だれもが活躍できる場をつくることで、犬山市で暮らす市民のみなさんが物質的にも精神的にも豊かさを実感し、このまちでの暮らしを続けたいと思うことが必要と考えています。

総合計画の基本構想では、犬山市で暮らす人たちの「暮らしの豊かさの向上」をまちづくりの考え方の基本とすると記載しています。

加えて、まちの将来像を「水と緑と伝統 みんなつながり みんなうるおう 豊かさ実感都市 犬山」と定め、犬山市を象徴する歴史、文化、自然とともに様々な分野でヒト、モノ、コトが時には分野を越えてつながり、まちで暮らす人の生活が潤っていくことで、住みたい、住み続けたいまちを目指し、施策を展開していきます。

具体的なお提案につきましては、今後、取り組みを検討する際の参考とさせていただきます。

< 1 0 >

○いただいた意見・提案

私は、従来から41号線沿いの“道の駅”構想に興味を抱きます。

今回の第6次犬山市総合計画（素案）には、この道の駅について、期間は一で、詳

細は不明です。

従って、道の駅の詳細検討時、パブリックコメントの募集をお願いします。

現時点で私なりの検討希望を記します。

*道の駅経費計画値と設置後の実績値の比較のため、細目別把握をお願いします。

- ・道の駅関連土地等整備関連の費用と回収方法
- ・入居店舗数推定値と実績値及び費用と回収方法
- ・毎年の市の負担維持費と回収方法
- ・現在の近隣店舗からの市への入金等と道の駅設置後の入金推定値
- ・道の駅計画・設置関連職員人件費等予想値と実績値
- ・その他

*計画値と実績値の比較は、いろいろな意味で、PDCAに役立つと思われます。

◆市の考え方

道の駅については、「道の駅エリア基本計画」策定時にパブリックコメントを実施しています。(令和2年2月3日～2月17日)

なお、道の駅に係る取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から見合わせをしているところです。今後の予定は決まっておりませんが、具体的なご提案につきましては、今後、取り組みを検討する際の参考とさせていただきます。

< 1 1 >

○いただいた意見・提案

多方面にわたる計画素案は、住民の「思い」を網羅していると思います。計画の遂行には制約がある中、特に下記の2点に重点を置いた施策の展開をお願いします。

1. 商業施設の充実
 - (1) 大型民間商業施設の立地
 - (2) 最寄り品、飲食店、スポーツ用品店などの専門店の充実
2. コミュニティバスの充実
 - (1) 毎日の運行
 - (2) 65歳以上年間6,000円程度の高齢者パスの充実

◆市の考え方

1. 商業施設の充実について

基本計画(施策3-1)「住環境・インフラ」の取り組みの方向性として定めた「新たな交流施設の整備と買い物等の利便性の向上」(77頁)では、『橋爪・五郎丸地区と国道41号沿線において、市民の暮らしの豊かさが向上し、来訪者にとっても魅力が高まる場となるような新たな交流施設を整備するとともに、その周辺における民間商業開発の促進や都市計画マスタープランにおいて「商業集積ライン」としている幹線道路での沿道商業施設立地を通じて、市民の買い物等の利便性の向上を図ります。』と記載しており、当該方向性に沿ってできるところから進めてまいります。

2. コミュニティバスの充実について

計画期間における重点事業において、「わん丸君バス（コミュニティバス）再編」（102頁・番号 21）に替わり、「公共交通ネットワークの連携（交通弱者等への対応）」を予定しています。わん丸君バス（コミュニティバス）や令和4年度に実施したデマンド交通の実証実験、高齢者タクシー料金助成などの行政サービスを総合的に考慮し、交通弱者等に対応した公共交通ネットワークの連携を進めていくものです。

具体的なご提案につきましては、今後、取組みを検討する際の参考とさせていただきます。

< 1 2 >

○いただいた意見・提案

提案

これから益々大変な状況になるなか、中心地犬山駅前の犬山キャスト（犬山しろひがし商業協同組合）を基軸に高齢者の方が最も多い地域（長者町）の方と共に地域を支える仕組み作りをということで地元生産者・地元商工業者に協力を頂き、昨年 10 月より移動販売をスタートさせました。

犬山でいま特に問題になっています郊外の住宅の疲弊を解消する為にこの取り組みをモデルに他の地域にも広げることができたら。

スーパー自体集客能力がないと誘致が難しいという課題があると聞きます。

移動販売・ネットスーパーなど、それに代わるものがあると助かりますという事も聞きます。

特に移動販売がいいと思います。コミュニケーションの場にもなります。

地元の物も知ってもらえますし、色んな輪を広げることが可能です。

是非ご検討下さい。

◆市の考え方

ご提案内容のとおり、市民意識調査（アンケート）や総合計画審議会のなかでも、「買い物先が不十分である。」等の意見をいただいております、市としても課題を認識しております。

令和元年には地域の課題解決支援事業のモデル事業として、前原台団地にて移動販売車による買い物体験会を実施しています。

具体的なご提案につきましては、今後、取組みを検討する際の参考とさせていただきます。

< 1 3 >

○いただいた意見・提案

・コミュニティバス再編の際は、住民数の大小だけで決めず、駅や商業地から離れた地域、高齢化が進んだ集落を優先的に扱ってほしいです。

→市街化調整区域、駅からやや離れた場所では、自家用車が使えない場合、通勤や買

い物・通院がとても不便※。同じ「バスを増やしてほしい」という声も、地域によって重みが違うのでは？ と思います。

※駅との往復で、歩道のない県道や、街灯がほとんどない農道（ただし通学路）を通らなければならない、徒歩でも自転車でも安全に通行しにくいので。

・コミュニティバスは土日祝も運行させてほしいです。土日祝こそ、公共交通機関で外出したい機会もあるからです。

・P. 44-45 の模式図を見ると、市の西端のみに手厚い印象。「調和型コミュニティ形成拠点」「暮らし・自然調和ゾーン」は具体的にどんな変化があるのでしょうか。農地・里山整備のみで終わらず、住民の不便を解消する施策をお願いしたいです。

→地区別タウンミーティングは池野・犬山・楽田・羽黒・城東の5地区で実施されました。池野地区、城東地区の住民が「無視された」「取り残された」と感じないようなアナウンスをお願いします。

◆市の考え方

コミュニティバスについて

計画期間における重点事業において、「わん丸君バス（コミュニティバス）再編」（102頁・番号21）に替わり、「公共交通ネットワークの連携（交通弱者等への対応）」を予定しています。わん丸君バス（コミュニティバス）や令和4年度に実施したデマンド交通の実証実験、高齢者タクシー料金助成などの行政サービスを総合的に考慮し、交通弱者等に対応した公共交通ネットワークの連携を進めていくものです。

具体的なご提案につきましては、今後、取組みを検討する際の参考とさせていただきます。

土地利用について

基本構想において、「調和型コミュニティ形成拠点」及び「暮らし・自然調和ゾーン」では、ともに「里山に近接する既存の集落では、自然と調和した生活環境の充実を図るとともに、主要な集落、駅の周辺では、地域のコミュニティを維持する」としており、「日常生活を支える機能を確保」する方針を示しています。

また、今までの取組みとして、今井地区及び栗栖地区において平成31年4月に優良田園住宅の建設の促進に関する基本方針を定め、富岡・塔野地地区では令和4年4月に都市計画法第34条第11号における地区指定を行い、それぞれ住宅立地条件の緩和を行いました。また令和4年4月に都市計画法第34条第2号運用基準（観光資源の有効な利用上必要な建築物）について、許可対象範囲の拡大や許可対象用途を明確化する見直しを行い、池野地区や城東地区を含めた市街化調整区域において、観光資源を維持・活用するために必要な施設や宿泊施設、休憩施設（レストランや休憩設備を備えたコンビニエンスストア等）等、地域活性化に寄与する施設の立地の可能性を広げました。

< 14 >

○いただいた意見・提案

この総合計画が実現できたら、素晴らしい犬山になると思います。

まちづくり＝ひとづくり などとよく耳にしますが、市民として住みよいまちになることに期待しています。

犬山市は歴史も文化も豊富にあるが故に、城や祭以外が埋没しがちになっていますが、市民がその良さに気づき、観光のためというよりも市民のための文化財の保存・活用に繋がることを望んでいます。そういった意味でも市史編さんには特に期待しています。

◆市の考え方

計画の実現に向けて取り組む「シティプロモーション」の取組みの方向性として、「シビックプライドの醸成」や「魅力の発掘、磨き上げ、創出」を定めています。住んでいる人にとっては当然のことで気づいていない魅力を、現在策定中の文化財保存活用地域計画や市史編さんをはじめとした様々な事業で市民の皆さんと一緒に発掘し、磨き上げ、それを情報発信していくことで、市民が「自慢できるまち」を目指していきます。